

6年1組 道徳だより

主題名 努力の尊さ 内容項目 希望と勇気、努力と強い意志

教材名 「夢」P.156～159

ねらい より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする態度を養う。

①教材について

小さい頃からプロ野球選手になることを夢見て、努力を重ねてきた「ぼく」の夢はかなわずに終わる。しかし「ぼく」の心は実にすがすがしく、さわやかである。

「夢はぼくを育て、僕の人生を切り開き、それは新たな夢につながっていく。」この言葉は本教材において大きな意味を持つ。「努力をすれば夢はかなう」という成功体験談ではない展開に、児童はさまざまな思いや考えを抱く。その多様な意見を発表し合う話し合いを経ることにより、一人一人の児童に、自分にとっての「夢」について深く考えられるようにしたい。

②授業の様子

○中学時代、チームの仲間が一人、二人と辞めていったとき、「ぼく」はどんな思いだったのでしょうか。

(子どもの意見)

- ・一緒に乗り越えてきた仲間がやめて、不安、くやしい。
- ・仲間がやめていき、暗い気持ち。
- ・想像していたチームとちがった。

○誰もしない仕事を「本気でやってやる！」と決めるとき、ぼくはどんな気持ちだったでしょうか。

(子どもの意見)

- ・誰もしない仕事をやり切ることで、自分も変わる。
- ・誰もみていなくても、本気でやろう。
- ・辛いときでもチームの一員としてやってやろう。

③夢があったからこそ今のぼくがいる。」という言葉は、どんな考えから生まれた言葉でしょうか。

(子どもの意見)

- ・夢が土台となって本気で取り組んだから今のぼくがいる。
- ・やり切ったことが、自信となり、今がある。

④担任より

「夢」についての児童の事前アンケートでは、「夢がある」「なんとなくある」児童が80%以上いました。また、65%の児童が「夢はかなうと思う」と思っていることが分かりました。

本授業を通して、夢へ向かう過程が大切なこと、その取り組みを通して身についた心が今後の生活に生きてくることを学びました。夢がまだ決まっていないお子さんも、これから色々な経験をして見つけていきたい、と前向きに捉えていることが分かり、嬉しく思いました。最後に、教材の言葉を紹介します。

～夢・・・。夢はぼくを育て、ぼくの人生を切り開き、それは新たな夢につながっていく。夢があったからこそ、今のぼくがいて、これからのぼくがある。～